

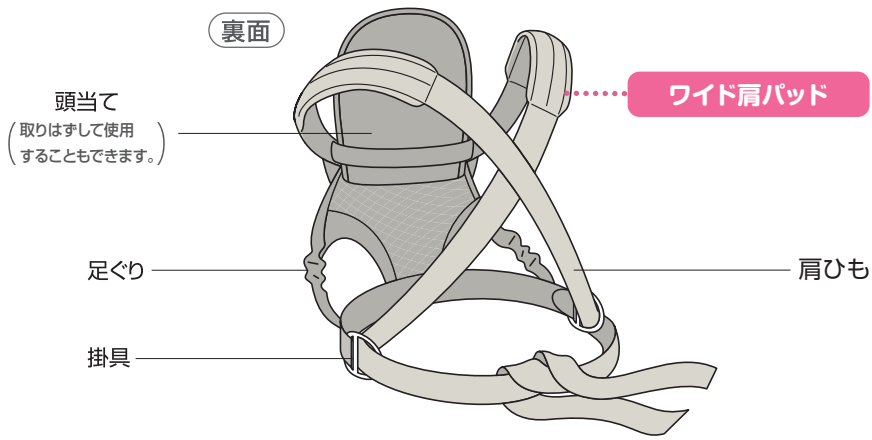
取扱説明書

- ご使用前に本書をよくお読みの上正しくお使いください。また、取扱説明書は大切に保管してください。
- 本品を他の方にお譲りになるときは、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

3年以上ご使用の場合、生地などの経年劣化により本来の性能を果せず危険をまねくおそれがあります。ご使用をお控えください。

抱っこひもの耐用年数は、購入日より3年間となります。

●解説図



おんぶのご使用方法

※頭当て使用時は必ず
ホックをとめてください。



1 お子さまをソファなどに寝かせるか、座らせた状態で足を足ぐりに通します。



2 お子さまのわきの下に肩ひもをあて、腕をだします。
※腕をださずに使用するとお子さまが落下するおそれがあります。
肩ひもを両手でしっかり持ってお子さまを背中に乗せます。



3 肩ひもを胸の位置で交差させて掛具に通し、ウエストあたりで結びます。
※背負うときや降ろすときは、できるだけ他の人に手伝っていただくより安全です。

●胸を強調しないおんぶのしかた



3 ①～②はおんぶのご使用方法と同じです。左右の肩ひもを掛具に通します。このとき肩ひもは交差させず、右の肩ひもは右の掛具に、左の肩ひもは左の掛具に通します。



4 肩ひもを胸の前で交差させます。右の掛具に通した肩ひもは左の肩ひもの下に通し、反対側も同様にします。



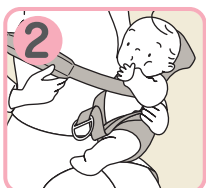
5 胸の上で結びます。なるべく高い位置で結び、よりお子さまが下がりにくくなります。

たて抱っこ対面のご使用方法

※頭当て使用時は必ず
ホックをとめてください。



1 お子さまをソファなどに寝かせるか、座らせた状態で足を足ぐりに通します。



2 お子さまを使用者のひざに座らせた状態で、わきの下に肩ひもをあて、腕をだします。
※腕をださずに使用するとお子さまが落下するおそれがあります。



3 肩ひもを背中であらして前に回します。
※このとき必ずお子さまを片手でささえてください。



4 肩ひもを掛具に通してお子さまの位置を決めてから腰の後ろでひもを結びます。肩ひもはウエストより高い位置で結びとお子様を安定します。

おんぶの
ご使用方法動画



胸を強調しないおんぶの
ご使用方法動画



たて抱っこ対面の
ご使用方法動画



安全にお使いいただくために

ご使用いただけるお子さまの月齢は、首がすわった乳児期(4ヵ月頃)～24ヵ月(体重13kg)まで

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- お子さまが開口部から落下するおそれがあります。身体を傾ける際には、お子さまが落下しないよう手で支えてください。また、頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく、膝を曲げるようにしてください。
- 肩ひもは必ず掛具に通し、使用者の身体に合わせてきつめに結んでください。
- お子さまが落下するおそれがあります。
- 使用中に大きく前かがみしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。
- お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意しながら使用してください。
- 早産児及び呼吸器疾患等のあるお子さまへは使用しないでください。ご使用については医師に相談してください。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

- 着脱時は、可能な限り低い姿勢や安全な場所で行うようにしてください。他の人に介添えいただくより安全です。
- おんぶ時は、目が届きにくくなりますので、特に注意してください。
- 使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、掛具などが破損していないか確認してください。また、破損している場合は使用しないでください。
- 装着後も緩みがないか確認してください。
- 抱っこ時は、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も注意してください。
- 抱っこ時は、肩ひもは背中であらして使用してください。
- バックルや掛具の開口部またはすき間にお子さまの手指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。バックルがある製品は、未使用時もバックルが開いていないよう、はめ込んでおくようにしてください。
- 授乳後30分間はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるために、使用しないでください。
- 連続して使用する時は、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以下の使用にしてください。
- 体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じる時は、使用しないでください。
- 飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。
- 料理、家事の時は、おんぶで使用してください。火気に注意し、使用中に大きく前かがみしないでください。また、思わぬ事故につながるおそれがあるため、抱っこでの使用はしないでください。
- 汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。また車内など高温になりやすい場所での保管はしないでください。(劣化や変色することがあります)

洗濯についてのご注意

- ・洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルをご参照ください。
- ・色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください。
- ・つけ置き洗いも避けてください。
- ・洗濯ネットに入れて洗ってください。
- ・バックルが付いている製品は、バックルをとめてネットに入れてください。
- ・軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分をたたくようにして落とすようにしてください。
- ・漂白剤、蛍光増白剤入りの洗剤は使用しないでください。
- ・脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損するおそれがあります。

点検について

ご使用前に、バックルなどの樹脂部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

SGマーク制度について

SGマークは、製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SGマーク付きの製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、購入日より3年間となります。

●賠償についてのご注意

SGマーク付き製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。(原則として事故発生日から60日以内に連絡してください。)

●事故の届出に必要な項目

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品 (製品の名前、ロット番号、購入先、購入年月日)
- ②事故発生の状況 (事故発生日、事故発生場所、事故発生状況)
- ③被害の状況 (被害者の氏名、年齢、性別、住所、被害の状況)



製品安全協会
東京都台東区竜京2-20-2
ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300